

指定管理者の評価結果について（令和7年度）

1 指定概要

（1）施設概要

施設名：津島市斎場

所在地：津島市元寺町2丁目59番地1

設置年：昭和29年

設置目的：市民の公衆衛生その他公共の福祉の増進を図る

施設内容：構造：火葬棟（木造）143.82 m²

待合棟（鉄骨造）190.94 m²

設備棟（鉄骨造）117.70 m²

敷地面積：2,078 m²

主な設備：待合室2室、待合ホール、トイレ、事務室

（2）指定管理者の概要

指定管理者名：つしま斎苑管理グループ

代表団体 イージス・グループ有限責任事業組合

三重県四日市市朝日町1番4号

構成団体 三和テクノ株式会社

津島市宮川町1丁目72番地

指定管理者概要：火葬業務の専門事業者と施設・設備の専門事業者の構成団体で、斎場施設の指定管理を受託している。

（3）指定管理業務の範囲

津島市斎場の管理に関する業務

（4）指定期間

令和3年4月1日～令和8年3月31日

2 評価結果

(1) 評価基準

評価項目
I 適正な管理の確保に関する取組
(1) 管理の実施状況 - 施設の維持管理が適切に行われているか。 - 施設の管理にあたる人員配置が合理的であったか。 - 個人情報保護のための対策が十分であったか。
(2) 安全対策、危機管理体制など - 事故防止などの安全対策や事故発生時の危機管理体制は十分であったか。 - 防犯、防災対策や非常災害時の対応などが十分であったか。
II 市民の平等利用、サービス向上、利用促進等に関する取組
(1) 施設の利用促進など - 目標の利用者数をクリアしたか。 - 施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、十分なサービスが提供されたか。
(2) 市民の平等利用、サービスの質の維持・向上 - 利用者の意見を反映させる取組が行われたか。 - 利用者が公平に、平等に利用できるよう配慮されたか。 - サービスの質を維持・向上を図る具体的な取組がなされ、効果があったか。
III 管理経費の安定や低減に関する取組
(1) 指定管理に係る費用（＝管理コスト） - 協定で定めた費用で施設の管理が効率的になされたか。 - 施設の管理に係る収支の内容に不適切な点はないか。
(2) 収入の増加や経費の低減に向けた創意工夫 - 施設の管理に係る収支の内容に不適切な点はないか。 - 再委託をした業者は、適切な水準で行われたか。
IV 施設の設置目的の達成に関する取組
(1) 施設の設置目的の達成状況 - 施設の設置目的に沿った活用がなされているか。 - 施設の設置目的を達成するための取組がなされ、効果があったか。
(2) 提案内容の達成状況 事業計画書での主な目標項目について、達成状況はどうか。

(2) 評価結果

評価項目	令和7年度の状況	評点
I 適正な管理の確保に関する取組み (1) 管理の実施状況 (2) 安全対策、危機管理体制など	・施設設備の保守点検等による予防保全に努めるとともに、迅速かつ計画的な補修対応を実施し、大規模な不具合の発生を抑制できた。施設の老朽化が進んでいるが、日常的な美観維持や衛生管理、必要十分な修繕を行い、施設の価値向上に努めた。 ・火葬炉設備の日常点検の徹底と適切な職員配置、葬祭業者との連携等により火葬業務を円滑に実施できた。 ・全国的に火葬ニーズが増加傾向にある中、火葬件数の増加への対応の検討を進めた。	3点／3点
II 市民の平等利用、サービス向上、利用促進等に関する取組み (1) 施設の利用促進など (2) 市民の平等利用、サービスの質の維持・向上	・施設の特性や地域の文化・習慣を踏まえた業務マニュアルと施設に応じた接遇により適切な利用者サービスを提供した。 ・市と連携して施設における飲食制限の緩和を行ったほか、待合棟天窓の遮熱フィルム施工、飲料水自動販売機の新札対応、こども用絵本の更新等を実施し、施設利用の快適性の向上を図った。	2点／3点
III 管理経費の安定や低減に関する取組み (1) 指定管理に係る費用(＝管理コスト) (2) 収入の増加や経費の低減に向けた創意工夫	・エネルギー価格の高騰が続き、光熱水費の支出が計画額を超過したが、その他の経費の支出は、計画どおり実施した。 ・アスファルト補修や除草・樹木剪定を自前で行うなど、職員の創意工夫により経費の支出抑制に努めた。	2点／3点
IV 施設の設置目的の達成に関する取組み (1) 施設の設置目的の達成状況 (2) 提案内容の達成状況	・安全な火葬の実施と円滑なサービス提供を行い、満足度の高いサービス提供ができた。 ・研修等を通じた職員のスキルアップとセルフモニタリングによる業務水準の維持を図った。 ・火葬炉設備を適正に管理し、利用に関する支障を及ぼすような施設設備の異常や不具合は生じなかった。	2点／3点
合 計		9点／12点
総合評価		A

〔評価の理由〕

I 適正な管理の確保に関する取組み

- ・施設設備の予防保全及び適切な補修対応により、施設の安全かつ円滑な管理運営を担保することができた。
- ・災害対策として、定期的な消防訓練や大規模災害を想定した机上訓練に参加するなど、災害発生時の職員の行動の習熟や指定管理者としての応援体制の構築に努めている。
- ・施設の管理運営の現状把握を踏まえた上で、市と情報共有を行い、連携して対処できているので、長期的な対応についても計画的に対応していきたい。

II 市民の平等利用、サービス向上、利用促進等に関する取組み

- ・待合棟天窓の遮熱フィルム施工や飲料水自動販売機の新札対応を始めとする利用者サービスの向上に向けた取組みは、利用者ニーズを的確に把握して実行され、利用者に寄り添った効果的なものとなっている。
- ・利用者や葬儀業者のニーズの把握については、手法の改善の余地がある一方で、苦情に対して速やかな改善策の実施と市への適切な報告により、迅速な解決に努めている。

III 管理経費の安定や低減に関する取組み

- ・エネルギー価格の高騰が続き、光熱水費の計画額超過が見られ、全体を通じて、概ね計画どおり適正な経費の執行となっている。

IV 施設の設置目的の達成に関する取組み

- ・災害時においても稼働が求められる公共施設として、自主事業として行われた災害備蓄品や感染症対策資材の確保は、有用な取組みとなっている。
- ・本施設は、高齢化に伴い増加しつつある火葬需要に対応し、継続的に運用する施設であり、火葬炉設備の安全かつ安定した稼働を第一とし、効率的に施設及び設備の管理が行われるとともに、故人の尊厳を守りつつ、遺族・会葬者の心情に配慮した質の高い施設運営が行われている。

【評 点】

3点：計画された業務水準を大きく上回る成果があり、特に優れていたもの

2点：計画された業務水準を概ね達成したもの

1点：再三の指導や是正勧告の結果、計画された業務水準を概ね達成したもの

0点：計画された業務水準を達成できなかったもの

【総合評価】

S：目標や計画を大きく上回る成果があり、特に優れていた。

（「1点」以下の項目がなく、かつ、合計得点が全体の85%以上）

A：目標や計画どおりの成果があり、適正な管理が行われた。

（「0点」の項目がなく、かつ、合計得点が全体の60%以上85%未満）

B：目標や計画を下回る点があり、さらなる努力が必要である。

（「0点」の項目がなく、かつ、合計得点が全体の30%以上60%未満）

C：管理運営に適切でない点があり、改善すべきである。

（「0点」が1項目以上ある、または、合計得点が全体の30%未満）